

事業名	国際協力推進事業費	財務コード (事業)	657502
-----	-----------	---------------	--------

細事業名	NGO活動促進等事業費
------	-------------

担当部課室	観光 部 国際交流 課 国際交流 担当 (内線)	4412
-------	--------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 H16 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
事業の目的	誰(何)を対象に NGO活動に興味がある県民や既にNGO活動団体等で活動している県民	その対象をどのような状態にして 国際協力活動やNGO活動等に関する正しい知識等をより一層理解している。	結果、何に結びつけるのか 地域におけるNGO活動、国際貢献、国際協力活動のより一層の活発化。
	事業の内容 ※主に 23年度 ○事業概要 NGO活動や国際協力活動促進のため、県内NGO団体への講座(勉強会)の開催(業務委託) ①NGO活動推進講座 NGO団体に対して、他のNGO団体の活動の紹介やNGO活動を進めるにあたっての問題解決技法等のセミナー開催(業務委託) ②NGO団体交流会 県内のNGO団体は、小規模で活動基盤が脆弱であるため、NGO間の連携を促進し、より充実した成果が発揮できるようなNGO団体間の活動発表会・交流会の開催		
根拠法令等	NGO活動等促進事業(NGOセミナー開催)委託契約書、実績報告書		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 NGOセミナー参加者数	32人 (1回)	50人 (1回)	46人 (1回)	50人 (1回)	-	活動指標 目標設定の考え方 過去3年程度の実績を参考に50人と設定。 データの出典等 委託契約実績報告書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	92.0 %				
成果指標 参加者アンケート満足度	100%	100%	97%	100%	-	成果指標 目標設定の考え方 アンケート回答者の研修内容評価 データの出典等 参加者アンケート
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	97.0 %				
決算額、予算額 (千円) うち一財額	129	129	129	129	-	成果指標によらない成果 ○受研者の実践による国際協力活動やNGO活動等に対する正しい知識等の普及啓発を通じた県民の国際協力意識の高揚。 ○参加者アンケートには「他の機会でも生かしたい」などのコメントが多く、教育現場等で紹介・実践されている。
所要時間(直接分)	50 時間	50 時間	50 時間	50 時間	- 時間	
所要時間(間接分)	時間	時間	時間	時間	- 時間	
所要時間計	50 時間	50 時間	50 時間	50 時間	- 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	101	101	101	101	-	

III これまでの事業の見直し・改善状況

NGOスキルアップ事業やNGO出前講座補助金を段階的に廃止し、平成16年度からNGOセミナーを実施し、NGOの活動基盤の強化に対する支援を行っているが、参加者等の状況をみながら平成22年度から回数を2回から1回に減らしている。

#### IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
b	b	NGOセミナー参加者のアンケート結果は、「満足である」と回答した参加者が、目標値100%に対して、実績値97%であり、意図した成果を上げたと考えられる。また、参加者アンケートには「参考になった」「別の機会でも生かしたい」などのコメントが多く、現に教育現場や他NGOの勉強会などで紹介・実践などされている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

#### V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

##### 一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	国際貢献・国際協力活動に対する県民の理解を深めるため毎年セミナーを開催してきたが、近年参加者数が低迷するとともに固定化が生じているため、廃止の方向で見直す。	

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費削減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

##### 二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

#### VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
廃止	過去9年間にわたり実施し、すでに県民の間にNGO活動や国際協力活動への理解が浸透していることから、事業目的を達成したと判断し、廃止した。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。